

## チョウの雌雄型

高橋真弓

表紙写真のチョウはジャコウアゲハの雌雄型（性モザイク）で、左半分が雄、右半分が雌となっています。チョウ類ではこの他にスジグロシロチョウ、ミヤマシジミなどいくつかの種に知られていますが、非常に珍しいものです。性モザイクは甲虫類でも知られています。

チョウ類などを含む昆虫類の卵はモザイク卵と呼ばれ、受精卵が分裂して二つの細胞（割球）となったとき、それぞれの割球の発生運命がまぎります。たとえば雄になるべき受精卵が二つの割球のうち一方の割球が雌に変化すれば、体の半分ずつが雌と雄になるわけです。これは性染色体の分裂異常によるものです。ヒトなどの卵は調節卵と呼ばれ、各割球に調節力があるため性モザイクは生まれません。



ナガサキアゲハ 後翅の一部が雌型  
1995. 4. 8. 沖縄県名護市真喜屋林道. 渡辺 力氏採集



ハヤシミドリシジミ. 左：雌型，右：雄型  
1998. 7. 4. 岡山県苫田郡上斎原町恩原高原. IYamasaki 氏採集



ミヤマシジミ. 左：雄型，右：雌型  
1999. 6. 14. 静岡県富士宮市朝霧霊園 北條篤史氏採集



ミヤマシジミ. 左：雌型，右：雄型  
1965. 8. 15. 山梨県南都留郡山中湖. 鈴木英文氏採集



ミヤマシジミ. 左：雌型，右：雄型  
1995. 9. 15. 静岡市葵区中平 諏訪哲夫氏採集



ミヤマシジミ. 右前翅一部のみ雄型  
1952. 8. 10. 静岡市葵区板谷島. 高橋勝夫氏採集